

＜真の王はロバに乗る＞

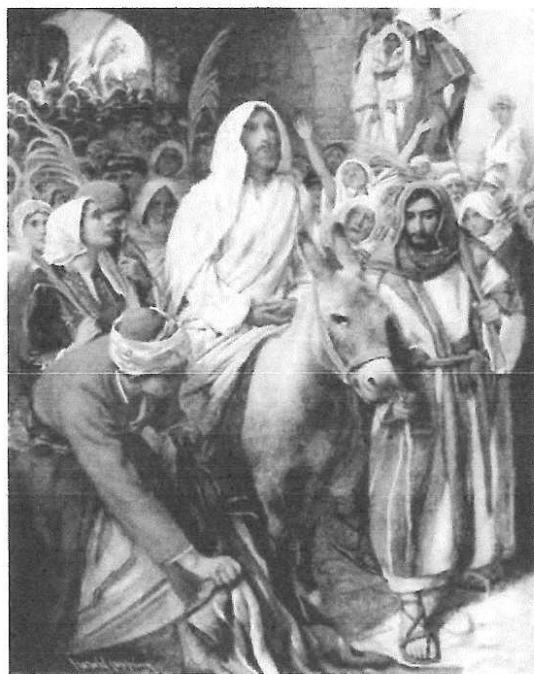
マルコ11：1～11

イエスさまのエルサレム入城

- ・過ぎ越しの祭りの日→出エジプトを記念する祭り。
小羊の血を家の入口に塗ることでイスラエルの
民の命は助かった。(出エジプト12章)

オリーブ山…エルサレム東にある標高817mの山

不思議な事。イエスさまは知っていた！
「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだだれも乗った
ことのない、ろばの子が、つないであるのに気がつくでしょう。
それをほだいて、引いて来なさい。もし、『なぜそんなことを
するのか』と言う人があったら、『主がお入り用なのです。すぐに、
またここに送り返されます』と言いなさい。」



①神は備えてくださる方。

言われた通りの事が起こったということは「主の用」は必ず果たされることを意味した。

②主がお入り用

イエス様の命令には神の権威があった。

子ロバ・・・小さくて弱い

まだ誰も乗せたことの無い未熟なロバの子
イエス・キリストを背中に乗せた唯一の動物

主がお入り用といわれた子ロバは私たち？！

選ばれる理由はわからなくとも、素直に従うときに、主の御旨は成し遂げられる。

【子ども賛美歌99番】

私たちはロバの子です
馬のように速く走れない
ライオンのような力なんかない
ただのちっぽけなロバの子です

だけどあなた知っていますか？
ロバが主のお役にたったこと
イエス様を背中におのせして
エルサレムにお連れしたことを

走れなくても強くなくても
いつもイエス様がいてくれます
私たちはロバの子です

イエスさまを迎えた人々は熱狂して叫んだ。

ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られた方に。祝福あれ。

いま来た、われらの父ダビデの国に。ホサナ。いと高き所に。

*ホザナ・・・「主よ、今、私たちを救ってください」という意味。

ヘンデル作曲「見よ 勇者は帰りぬ」・

オラトリオ マカベウスのユダ の第3部の中に在る曲。

*オラトリオ・・・イタリア語で「祈祷所」

聖歌168 いざ人よ / 賛美歌130 よろこべや たたえよや

イエスさまは何故ロバを必要とされたのか？ 馬ではなく・・・。

これは、預言者を通して言われたことが成就するため マタイ21：4

預言者とはゼカリヤのこと

シオンの娘よ。大いに喜べ。エルサレムの娘よ。喜び叫べ。見よ。あなたの王が
あなたのところに来られる。この方は正しい方で、救いを賜り、柔和で、ろばに乗られる。
それも、雌ろばの子の子ろばに。 ゼカリヤ9：9

- ◆ロバは畑仕事や、荷物を運ばせるのに使った動物。戦いには向かない不格好な動物。救い主となられる方は、武器をもって戦う王ではない。力で相手をねじ伏せて勝利をもたらす王ではない。

剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。 マタイ26：52

- ◆イエスさまは自分を捕らえに来て、剣を向けた人間に、何の武器も持たずに丸腰で立ち向かった。真の王とは平和の王。それが、ロバに乗るということに現されていた。

しかし・・・世の終わりに再びイエスさまは全てを治める王として再臨される。
その時は、馬に乗って来られる。

見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、
義をもってさばきをし、戦いをされる。 黙示録19：11

- ◆軍事力や権力やお金の力などで世界を動かそうとする、人間の思い上がり。私の内にもある、人を責めたり恨んだりする醜い罪が、神の御子であるイエス・キリストを十字架につけた。

ロバの子にのってエルサレムに入城されたイエスさま。そして十字架に架けられた。
人類の罪に、神の愛が勝利した！